



IT 自動化で Red Hat Enterprise Linux の価値を高める

Red Hat® Enterprise Linux® は、今日の IT 運用環境の複雑性に対応するために必要なアグリティと安定性を提供します。適切な自動化ソリューションを使用することで、資産管理をさらに効率化できます。

Red Hat Ansible® Automation Platform を使用すれば、Red Hat Enterprise Linux ユーザーはインフラストラクチャの設定、デプロイ、管理、スケーリングを自動化できるため、一貫性が向上し、手作業と運用コストが削減されます。また、価値実現までの時間が短縮され、全体的な運用効率が向上します。以下にご紹介する 4 つの高価値のユースケースで、その方法をご確認ください。

1 CentOS の移行を効率化し、アップグレードのリスクを軽減

Ansible Automation Platform は、以下のツールにより、Red Hat Enterprise Linux に移行（または Red Hat Enterprise Linux をアップグレード）しようとする組織が移行を加速し、移行に関連するリスクを最小限に抑えられるよう支援します。

- ▶ **移行前の事実収集とオーケストレーション：**移行前のインフラストラクチャ認識と事実収集を自動化し、[ServiceNow](#)などの IT サービス管理 (ITSM) に記録します。Ansible Automation Platform は、リカバリー用のシステムスナップショットを作成したり、ホストが完全に更新されていることを確認したりすることもできます。また、Red Hat Enterprise Linux バージョン 7、8、9 のシステム変換や 変換コマンドラインツールの承認プロセスなど、重要な移行前ワークフローを開始することもできます。
- ▶ **Convert2RHEL：**移行前の手順に従い、Ansible Automation Platform は Convert2RHEL プロセスを大規模にトリガーして、CentOS システムを Red Hat Enterprise Linux 7 に変換できます。
- ▶ **移行の検証：**これには、移行前と移行後の検証チェック、CentOS ホストのインベントリー管理、移行およびスケーリング中のコンプライアンスチェック、設定後のシステムテストが含まれます。
- ▶ **アップグレード前のアセスメント：**移行後に Red Hat Enterprise Linux 7 にアップグレードする場合は、Leapp を使用してアップグレード前レポートを生成できます。サードパーティ製ツールに必要なアップデートや再設定が特定されます。

2 システムおよび環境全体の一貫性を実現

Ansible Automation Platform は主要な管理タスクを自動化し、潜在的な問題を自動的に修復するため、組織はシステムおよび運用環境全体で大規模に一貫性を実現することができます。

Ansible Automation Platform を使用すると、次のことができるようになります。

- ▶ IT ランドスケープ全体の一貫性を維持しながら、Red Hat Enterprise Linux システムの設定、デプロイ、管理、スケーリングを行う。
- ▶ ハイブリッド環境やマルチクラウド環境を含む IT ランドスケープ全体にまたがる複雑な自動化ワークフローを構築する。
- ▶ 物理環境、仮想環境、クラウド環境、エッジ環境の設定を標準化し、Red Hat Insights によって環境をアクティブに監視してコンプライアンスと設定の問題を特定し、Event-Driven Ansible で修復を自動化する。
- ▶ システムのパッチ適用とアップグレードを自動化して、スピード、精度、一貫性を向上させる。
- ▶ Red Hat Insights または Performance Co-Pilot からのデータを Event-Driven Ansible のイベントソースとして使用し、CPU やメモリー使用率が高いなどのシステムパフォーマンスの問題をプロアクティブに特定して修復する。

3 Day 2 管理の複雑さを軽減

標準化した後も、組織は引き続き、手作業で時間のかかる Day 2 オペレーションに対処する必要があります。これは生産性とイノベーションの妨げとなる可能性があります。Ansible Automation Platform は以下の機能によって、Day 2 の複雑さの軽減と時間の節約を支援します。

- ▶ Red Hat Enterprise Linux システムの稼働を維持するためのパッチ適用、バックアップ、再起動、セキュリティ修正を完了する。
- ▶ 通常必要とされる時間をかけずにわずかな時間で、組織全体に大規模な変更を実装する。
- ▶ 一般的な人為的エラーのリスクを軽減しながら、サーバーを効率的にスケーリングする。
- ▶ Red Hat Enterprise Linux とサードパーティのアプリケーションまたはシステム間の複雑なワークフローを自動化する。
- ▶ Red Hat Insights のプロアクティブなモニタリング機能とレポート作成機能を利用して、単一のプラットフォームから組織の運用環境全体の自動化を監視する。

詳細はこちら

[こちらの e ブック](#)で、自動化による Red Hat Enterprise Linux の価値向上について詳細をご覧ください。

4 イベント駆動型の自動化で手作業による介入を最小限に

Ansible Automation Platform と ServiceNow ITSM が完全に統合されているため、組織は Event-Driven Ansible を使用して次のことを実現できます。

- ▶ ServiceNow ITSM、Ansible Automation Platform、その他のシステムやコンポーネント間のクローズドループの自動化プロセスを強化する。
- ▶ チケットに関連する事実を収集し、追加のトラブルシューティング・データを提供して、解決を効率化する。
- ▶ さまざまなシステムの問題を自動的に修復して、ダウンタイムを防ぎ、生産性を最大化する。
- ▶ Event-Driven Ansible 通知サービスを使用して、IT チームが反応時間を短縮し、生産性を向上させ、摩擦を低減できるよう支援する。
- ▶ 指定された上限を超える仮想マシンのリクエストなど、特定の条件が満たされた場合に、サービスカタログの注文を承認者に昇格する。

今すぐ使ってみる

[自習型の実践的なラボ](#)で、Red Hat Enterprise Linux の自動化の可能性を探求してください。



Red Hat について

Red Hat は、[受賞歴のある](#)サポート、トレーニング、コンサルティングサービスをお客様に提供し、複数の環境にわたる標準化、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、複雑な環境の統合、自動化、セキュリティ保護、運用管理を支援します。

アジア太平洋
+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア
1800 733 428

インド
+91 22 3987 8888

インドネシア
001803 440 224

日本
03 4590 7472

韓国
080 708 0880

マレーシア
1800 812 678

ニュージーランド
0800 450 503

シンガポール
800 448 1430

中国
800 810 2100

香港
800 901 222

台湾
0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
X twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat